# 検出器ホルダー フロート形

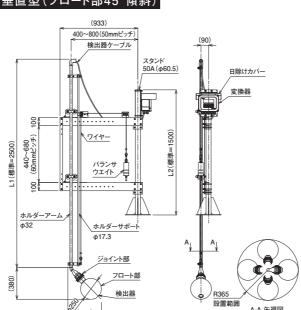
# 概 要 |||||||||||||||

検出器をフロート部の内部に保持し、液面に浮かべ液位に追従して上下変動させる装置です。 フロートは凹凸が少ないため、し渣などの絡み付きが少ない構造です。洗浄機構は付属しません。

# 垂直型(フロート部ストレート)

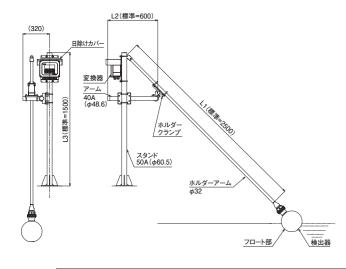
# 50A (φ60.5) 変換器 ウエイト ホルダーアー ホルダーサポート φ17.3 A-A 矢視図

# 垂直型(フロート部45°傾斜)

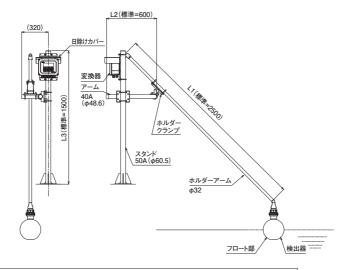


単位:mm

# 傾斜型(フロート部ストレート)



# 傾斜型(フロート部45°傾斜)



ご注文時に L1 ~ L3 (mm) の各部寸法、変換器スタンドベースサイズ、その他ご指定がある場合は、ご相談ください。

※ カタログ仕様は改良のため予告なく変更することがございます。

# JEE

# JFE アドバンテック 株式会社 URL:https://www.jfe-advantech.co.jp/

本 社 · 本 社 工 場 〒663-8202 兵庫県西宮市高畑町3-48 水 環 境 事 業 部 TEL.0798-66-1502

FAX.0798-65-7025

東 京 支 社 〒111-0051 東京都台東区蔵前2-17-4(JFE蔵前ビル2階)

TEL.03-5825-7360 FAX.03-5825-5591 TEL.022-711-7535 FAX.022-711-7534 北 支 店 TEL.052-565-0070 FAX.052-565-0072 中国・四国支店 FAX.086-447-3309 TFL.086-440-1580 支 TEL.092-263-1671 TEL.043-262-4238 FAX.043-262-4296 FAX.086-447-4605 西日本事業所(倉敷) TFL.086-447-4596 TEL.084-945-3568 FAX.084-945-5054 西日本事業所(福山)

JS-OD10-02B 23.03.2000 J

# 00-10

# 光学式溶存酸素計

### 概 要 ||||||||

本製品は、水中の溶存酸素量(DO)を測定するための光学式溶存酸素計です。 下水処理場における曝気風量制御や河川などの汚濁指標となる溶存酸素量を 監視する用途にお使いいただけます。

# 特 長 |||||||||

- 1. 光強度に影響されにくい光寿命(発光時間)を計測する方式なので 長期間安定して測定が可能。
- 2. 測定時に酸素を消費しないので流速のない液体の測定が可能。
- 3. 光学式なので消耗品は検出膜のみ。電解液不要でメンテナンスが容易。
- 4. 検出膜にメモリーICを内蔵したことで検出膜交換時の特性データを自動設定。
- 5. 日本語表示と操作スイッチのアイコン化でカンタンな操作を実現。

## 

### ■ OD-10型 検出器

測定	方 式	光学式(発光時間計測方式)			
	溶存酸素濃度	0~20.00 mg/L , 0~20.00ppm			
測定範囲	溶存酸素飽和度	0~200.0%			
	水 温	0~50.0℃			
精 度	再現性**1	± 2%F.S.			
相 反	繰り返し性	± 0.5%F.S.			
応答速度(9	0%応答)*2	30秒以内			
流	速	必要なし			
水温検	出精度	± 0.2℃			
校正方法	ゼロ校正	ゼロ水による校正**3			
以止力仏	スパン校正	大気中校正,飽和水校正,比較校正**			
使用温	度範囲	0~50℃ (凍結しないこと)			
耐水	: 圧	1MPa			
材質(本体,検)	出膜ホルダー)	ステンレス鋼 (SUS316)			
質	量	約2.4kg (検出膜、ケーブル10m含む)**5			
保 証	期間	出荷後2年(但し、検出膜を除く本体部分のみ)			
オプショ	ン(別売)	以下のオブション品をご用意していますのでお問い合わせ下さい。 ・検出器ホルダー・各種洗浄機構			

- ※1 水温25℃において、大気飽和水(飽和度100%)を測定した時の24時間後の出力再現性
- ※2 水温25℃において、大気飽和水からゼロ水を測定した場合 ※3 5%の亜硫酸ナトリウム水溶液を使用
- ※4 お客様にて手分析された値に合わせ込む機能 ※5 検出器ケーブルは最大100mまで可能

## ■ PM-10型 検出膜

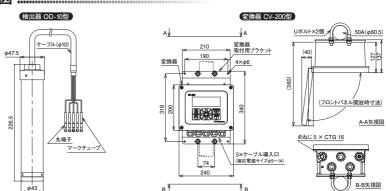
				出	器	OD-10 型
				ニータの	)設定	検出膜交換時に自動設定**1
				寿	命※2	2年以上
	++	材	質	本	体	アクリル樹脂 (PMMA)
	171			OIJ	ング	ニトリルゴム (NBR)
	質 量				量	約5g

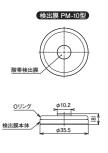
- ※1 但し、検出膜交換時はゼロ・スパン校正作業が必要です。 ※2 弊社基準の耐久試験及び下水処理場における使用実績による数値であり、精度などの保証期間では ありません。長期間、精度よく安定して計測するには、定期的な校正、メンテナンスが必要です。

■ CV-200型 変換器								
取 付**1				ポールもしくは、壁取付				
材			質	筐 体	アルミダイカスト(ACD12)	パネル部	アルミダイカスト(ACD12)	
色			調	筐 体	マンセル N4 相当	パネル部	マンセル 5PB6/8 相当	
質			量	約3.0kg (変換器本体のみ)				
電源				AC90~264V 50/60Hz				
消	費	電	力**2	約7W	約7W			
アナログ出力				DC4~20mA (2ch: 出力 (-) 側は共通電位) ±Io1:溶存酸素濃度・溶存酸素飽和度のいずれかを選択し出力 ±Io2:水温				
電	電 源 800Ω							
接	点	入	力**3	フォトカプラー絶縁入力 (内蔵電源 DC24V,5mA)				
洗	浄	出	カ	接点出力 (cleaning)		操作出力 (AC OUT)	AC 電圧出力** <sup>4</sup> (許容負荷 200VA 以下)	
自己診断機能**5				通電後の測定待機中、検出膜未装着、膜交換時期、水温異常:液晶表示 検出器故障、変換器メモリー異常、検出器・変換器間通信異常・液晶表示、故障出力				
警	報	出	力	a 接点(2点:接点定格 AC240V,1A) ALM1:レベル警報 ALM2:レベル警報, 蕨交換時期警報のいずれかを選択し出力				
故	障	出	力	c 接点 (接点定格 AC240V,1A)				
表	7	Ŕ	部	ドット	マトリックス型液晶表示	器 (バ	ックライト付)	
				避雷回路内蔵				
耐	雷	性	能	電源部	±10kV (1.2/50 μs)	電流出力部	±10kV (1.2/50μs) ±5kA (8/20μs)	
使用温度範囲			通	-10~55℃				
保	護	等	級	IP66				
保	証	期	間	出荷後2年				
オフ	オブション(別点)			以下のオブション品をご用意していますのでお問い合わせ下さい。 ・変換器スタンド・日除けカバー				
※1 変換器取付用ブラケットおよび、50Aポール取付用Uボルト2個を付属。								

- ※2 ただし、操作出力(AC OUT端子間)に接続される負荷の消費電力は除く
- ※3 測定ホールド,洗浄出力制御機能
- ※4 操作出力(AC OUT端子間)に出力されるAC出力電圧は、変換器供給電源電圧(AC90~264V
- ※5 内容詳細については取扱説明書をご参照ください。

# 外形図 |||||||||||







JFE アドバンテック 株式会社

# 検出器ホルダー 浸漬形 落し込み構造

## 概 要 |||||||||||||||||||

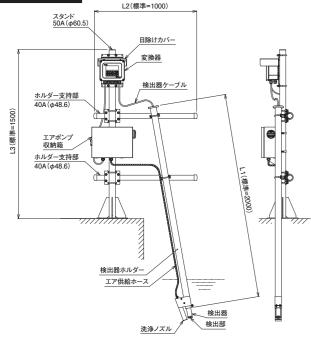
検出器ホルダー内に検出器を落し込む構造です。検出器単体で引上げ、清掃、校正などのメンテナンス操作が容易におこなえます。

# 

### (0051 編集 2000) (0051 March 2000) (005

設置槽内の測定液を自動で取り込み、その測定液で強力洗浄し、仕上げは圧縮空気で広範囲に追加洗浄するハイブリット方式です。洗浄駆動はエアポンプを使用するため、エア洗浄機構と同様に水配管の敷設などは不要で、施設の供給水量などの環境変化に影響されません。この機能を得るにはタンク型の洗浄ノズルとタンク調整弁が必要になります。

# エア洗浄機構



エアポンプから洗浄ノズルへ供給した圧縮空気を検出部に吐出することで洗浄します。エアポンプへの電源供給と洗浄時間の制御は変換器で可能です。

# 

施設の雑用水などを洗浄機構へ接続し、供給された水を洗浄ノズルから 吐出することにより洗浄します。このため、水供給源からの配管敷設が 必要です。供給水の通水制御は、電磁弁を使用し、電源供給と洗浄時間の 制御は変換器で可能です。洗浄機構へ供給される水源は効果を得るため 0.2MPa以上の安定した水圧で供給していただくことを推奨します。

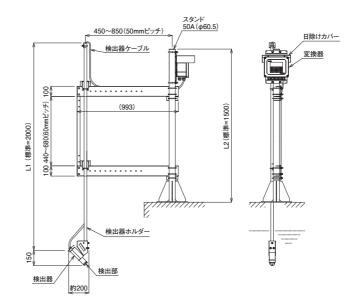
ご注文時に L1 ~ L3 (mm) の各部寸法、変換器スタンドベースサイズ、その他ご指定がある場合は、ご相談ください。

# 検出器ホルダー 浸漬形 浸漬構造

# 概 要 ||||||||||||||

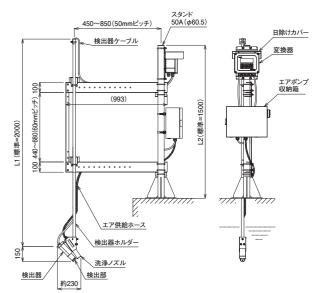
検出器を検出器ホルダー先端に固定します。検出器の設置に角度を付ける必要がある場合も省スペースで設置できます。

### 洗浄機構なし



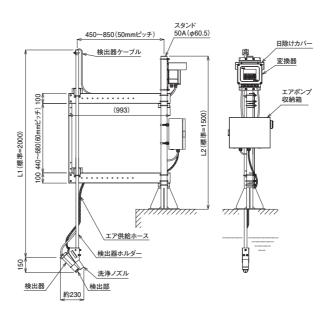
# 気液混合型洗浄機構

単位: mm



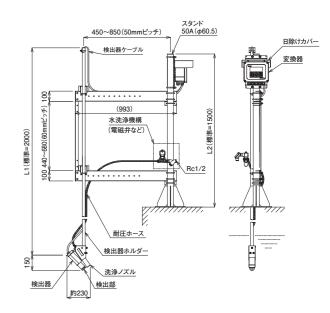
設置槽内の測定液を自動で取り込み、その測定液で強力洗浄し、 仕上げは圧縮空気で広範囲に追加洗浄するハイブリット方式です。 洗浄駆動はエアポンプを使用するため、エア洗浄機構と同様に水 配管の敷設などは不要で、施設の供給水量などの環境変化に影響 されません。この機能を得るにはタンク型の洗浄ノズルとタンク調整 弁が必要になります。

# エア洗浄機構



エアポンプから洗浄ノズルへ供給した圧縮空気を検出部に吐出することで洗浄します。エアポンプへの電源供給と洗浄時間の制御は変換器で可能です。

# 水洗浄機構



施設の雑用水などを洗浄機構へ接続し、供給された水を洗浄ノズルから吐出することにより洗浄します。このため、水供給源からの配管敷設が必要です。供給水の通水制御は、電磁弁を使用し、電源供給と洗浄時間の制御は変換器で可能です。洗浄機構へ供給される水源は効果を得るため0.2MPa以上の安定した水圧で供給していただくことを推奨します。

ご注文時に L1 ~ L3 (mm) の各部寸法、変換器スタンドベースサイズ、その他ご指定がある場合は、ご相談ください。